



校長より

「便利な社会が向かう先」

校長 山下 拓男



コンビニのレジで、スマホの画面を差し出すと、店員が読み取り装置をかざすと、「ピッ」とか「きゃうお?ん!!」、「ペ〇ペ〇」などと電子音が聞こえて支払いが完了する。わざわざ財布から紙幣や小銭を出す必要もなければ、店員がおつりを間違えることもない、とても便利な世の中になってきています。

昔は、360円を支払うのに、わざわざ510円を出して、150円のおつりをもらうというような技を使う人も結構いたようですが、そうした財布の中の小銭を増やさないことに頭を使う必要もなくなりました。

テクノロジーの進歩は、私たちの生活を便利で快適なものに変えてくれます。これまでにも、例えば、交通機関の発達やインターネットの普及によって、私たちは、飛行機や自動車がなかった時代よりも遥かに遠くまで行くことができ、どんなに遠く離れた人とも一瞬でつながることができるようになりました。

それは、いいことづくめのように見えますが、実は知らず知らずのうちに、いろいろなものを奪われ失っている面もあるのではないのでしょうか。

さきほどのおつりの話などは他愛もないことですが、テクノロジーが人間の能力の肩代わりをしてくれるということは、人間がその能力を使わなくなるということ、つまり、人間がその能力を失うことと同じとも言えます。

さらには、テクノロジーは、私たちの生活を激変させ、時に人間に害を与えるおそれも指摘されています。アップルの創業者であるスティーブ・ジョブズは、自分の子どもにはiPadやその他のデジタル機器の使用を制限していたといっています。彼自身は、自分がこの世に生み出し普及させた物の、人間に与える影響の大きさや恐ろしさを見通していたようです。

便利さや快適さをむやみに追い求めることは、こうした危険にさらされることと表裏の関係にあるとも言えます。本校の探究学習では、こうした物事を両面から見る力を身に付けることも目指しています。

与えられる便利さと引き換えに、私たちは何を失うのか、これからの社会を創っていく皆さんには、そのようなことも考えてみてほしいと思います。

1学年より

「正解」

1学年主任 後藤 千春

入学してはや1年が経とうとしています。「産業社会と人間」という総合学科でなければ経験できない授業を通して、進路実現に向けての自分探しの活動ができたでしょうか。

3学期のスタートにあたり、23期生のテーマ曲を決めました。RADWIMPSの「正解」という曲です。この曲には次のような歌詞があります。

『ああ答えがある問いばかりを教わってきたよ。そのせいだろうか。』

『僕達が知りたかったのはいつも正解など大人も知らない…』

答えが決まっている問いに答えても、大人によって導かれて答えをだしても、それは自分自身が動き、探して答えを見つけたことにはなりません。歌詞は次のように続きます。

『制限時間はあなたのこれからの人生』

『解答用紙はあなたのこれからの人生(略)』

『採点基準はあなたのこれからの人生…』

制限時間はまだまだあります。高校卒業時がゴールではありません。じっくり考え、たくさん動いて、かむしゃらに探して自分の将来を考えてみてください。

この一年の産業社会と人間の授業で培った「自ら動く力」や「疑問や課題を探す力」をこれからも活用してぜひ自分だけの答えを探してみてください。



2学年より

「2学年より」

2学年主任 天貝 恵美

今年度2学年の総合探求Ⅰはまず「ミニ課題研究」に取り組みました。これは3年次に行う「課題研究」に向けて、その段取りを予習するためのものでもありました。生徒たちは限られた短い時間の中ではありませんでしたが、真剣に課題に取り組んでいました。また、タブレットを使用して資料を検索する方法についても学ぶことができたと思います。ただ、どうしても本格的な探究とまではいかず、表面的なものになってしまった感も否めませんでした。もう少し時間をかけて取り組ませてあげたかったと思います。その後、いよいよ来年度の課題研究のテーマ設定に入りました。しかし、1年間を通しての研究テーマとなると、課題を見つけること自体が難しいようで、かなり苦戦している生徒も見られました。そのような中、3年生の課題研究発表会を見て刺激を受けた生徒も多くいたようです。本校の特色の一つである課題研究が先輩から後輩に受け継がれていくのを実感するよい機会であったと思います。

社会人として求められる資質の一つに「課題発見能力」があげられます。総合探究とはまさにこの能力を育成するためのものです。主体的な学びを通して計画的に進めることができれば、社会に出たときに自分自身を助けてくれることになるでしょう。将来のためにも真摯に取り組み、探究する力を育ててくれることを期待しています。



3学年より

「21期生の3年間を振り返って」

3学年主任 田部井 正代



令和2年4月7日、2期生の入学式が挙行されました。しかしそのたった二日後、長い休校期間に入ることになってしまいました。高校に入学してまだ一時間も授業を受けていないにもかかわらず、生徒たちは郵送された授業課題に取り組みました。また、担任の先生は、顔もほとんどわからない生徒一人ひとりに電話をかけ、日々の様子を聞き、悩みごとの相談に乗りました。学校はいつ再開するのか?再開後、果たして生徒たちは元気に登校できるのか?不安だらけの二か月でしたが、そんな不安をはねのけ、生徒たちはしなやかに新しい環境に適應し、6月から本格的に再スタートを切ることができました。

感染の波は起伏を繰り返しましたが、生徒たちはそのアップダウンに翻弄されながらも、三年間で経験すべき一通りの行事に取り組むことができました。特に2年次の修学旅行は二度の旅程変更を経てようやく実現しました。学校や保護者の皆様のバックアップのおかげで、学年全体が同じ目標に向かい一致団結し、良い思い出作りができたことと感謝しています。3年次になると、それぞれの進路実現に向けての取り組みが始まりました。コロナ禍で思うようにオープンキャンパスにも行けていないのでは、と心配しましたが、おかげさまで多くの生徒が希望を叶えることができました。

今年1月に実施した「総合学科アンケート」からは、生徒たちは総合学科の三年間で、様々な力を身につけたと感じている様子がわかります。特に3年次の「課題研究」への取り組みを通して、多くの生徒が、プレゼンテーション力、聴く力、思考力、問題解決力等が伸びたことを実感しているようです。今後の人生を生き抜くうえでどれも大切な力なので、うまく活かしていってほしいものです。

令和4年3月1日、21期生は立派に成長してこの足利南高校を巣立っていきました。今まで支えてくださったすべての皆様へ感謝いたします。



後期スポーツデイ

保健体育科 戸田 夏希

令和4年12月20日、スポーツデイが開催されました。天候にも恵まれ、男子がサッカー、女子がバレーボールを無事に実施することができました。今大会では、プログラムの作成から当日の準備や運営、片付けまで、生徒が主体となっておこなわれました。また、クラスごとにTシャツも作成しました。勝敗に関わらず、生徒たちの明るい笑顔がたくさん溢れた素晴らしい一日となりました。

	サッカー(男子)	バレーボール(女子)	総合順位
優勝	3-3	3-2	3-2
準優勝	2-3	2-2	2-3
3位	2-1	2-4	3-3



総合学科発表会

総合学科係 渡邊 理美

令和4年度の総合学科発表会が令和5年1月14日(土)に行われました。今年もコロナ禍での開催となったため、発表会場となる第1体育館には2、3年生のみが入場し、外部からの見学者には入場制限をさせていただきました。1年生はそれぞれの教室で、事前に収録された発表動画を視聴しました。

午前中は、産業社会と人間、総合探究Ⅰ・Ⅱの代表者による発表がステージで行われました。1年生は自分の描く進路や人生設計をまとめた「ライフプラン」を、2年生は「ミニ課題研究」を、3年生は各系列の代表者9名が「課題研究」を発表しました。1年生の時に自己の進路や興味に合わせて選択した科目、そしてその科目に基づいて2年次のミニ課題研究や3年次の課題研究に取り組み、希望の進路を実現していくという、3年間の総合学科での歩みが凝縮された発表だったと感じました。どの発表も個性豊かな内容であり、「課題研究」の発表は1、2年生にとって今後の参考になったと思います。

会場には3年生の保護者や中学生など、22名が足を運んでくださいました。またYouTubeでのライブ配信のアクセス数は110でした。外部の方にも本校の取り組みを知っていただく、良い機会だと思います。来年度もこれまで以上に充実した発表会になるよう努めてまいります。



講座発表会

学習指導部長 森 紀子



令和5年1月14日(土)、令和4年度の講座発表会が、総合学科発表会の午後の部として実施されました。講座発表会とは、芸術や技能習得分野の講座選択者が、一年間の授業を通して身に付けた学習内容を発表するものです。

従来は、体育館で作品展示とステージ発表を行ってきましたが、昨年度からは新型コロナウイルス予防のため、ステージ発表は行わず、校内発表として、事前に収録した動画を教室で視聴しています。

第二体育館には、芸術科(美術、書道)、家庭科の作品に加え、一年次の産業社会と人間、二年次の総合探究Ⅰ、三年次の総合探究Ⅱの研究結果がパネルに展示されました。また、動画に収められた講座は、演劇Ⅰ、器楽Ⅰ・Ⅱ、声楽Ⅰ・Ⅱ、体育(ダンス)、情報デザイン、生活と福祉です。

感染予防対策として、体育館には一クラスずつ入って講座作品の見学を行いました。また、クラスでの動画視聴では各教室に設置された電子黒板が活用されました。生徒たちは一年間の学習の成果に興味関心をもって見学、視聴している様子でした。

コロナの影響はまだしばらく続くかと思いますが、次年度も感染対策を講じつつ、さらに充実した講座発表会になるよう努めたいと思います。

3学年担任よいひとこと

1組担任 柳澤 美紀

21期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした3年間は、私にとって大変思い出深く、かけがえのない経験となりました。ありがとうございました。皆さんにとっても、この足利南高校で過ごした経験が、今後の自信となり、時に強みとなり、人生を切り開いていく支えとなってくれるよう願っています。健康に留意し、元気で頑張ってください。皆さんの前途に幸あれ!

2組担任 関 悠美子

21期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。振り返ってみると、楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、悲しいこと...本当にたくさんことがありましたが、あっという間の3年間でした。私自身初の担任ということで、皆さんからたくさんのお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。皆さんも足利南高校で学んだことを糧に、それぞれの道で力強く生きていってください。いつまでも応援しています。

3組担任 三上 修

21期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私にとっては初めて送り出す卒業生ということで、様々なところで至らない部分があったと思いますが、生徒の皆さんや同僚の先生方、保護者の皆様のサポートのおかげで、最高の3年間を過ごすことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。卒業生にはこれからの人生、うれしいことも辛いこともたくさんあると思いますが、前を向いて生きていってほしいです。また、会える日を楽しみにしています。

4組担任 前橋 浩大

21期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私にとって皆さんとの出会いは一生の宝です。「一期一会」。皆さんもこれまでの出会い、これからの出会いを大切にしながら、自分を大切に歩いていってください。心身の健康を保ちつつ、常に明るく前向きに謙虚・素直な心で、夢や目標に向かって努力を積み重ねていってください。いつまでも応援しています。担任をさせてもらい、本当にありがとうございました。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119(事務室)

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118(職員室)

http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc2/index.php?action=pages_view_main

